



2024年12月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年2月14日
上場取引所 東

上場会社名 アディッシュ株式会社
 コード番号 7093 URL <https://www.adish.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 江戸 浩樹
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員財務企画本部長 (氏名) 久保 芳和 TEL 03-6869-3777
 定時株主総会開催予定日 2025年3月27日 配当支払開始予定日 -
 有価証券報告書提出予定日 2025年3月27日
 決算補足説明資料作成の有無：有
 決算説明会開催の有無：有（決算説明の動画配信を予定しております。）

(百万円未満切捨て)

1. 2024年12月期の連結業績（2024年1月1日～2024年12月31日）

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年12月期	3,592	2.0	△132	—	△117	—	△115	—
2023年12月期	3,520	2.9	△171	—	△172	—	△193	—

(注) 包括利益 2024年12月期 △114百万円 (—%) 2023年12月期 △191百万円 (—%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2024年12月期	△66.69	—	△29.5	△9.4	△3.7
2023年12月期	△110.47	—	△33.3	△13.1	△4.9

(注) 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの1株当たり当期純損失であるため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年12月期	1,340	352	25.8	197.47
2023年12月期	1,176	439	37.1	253.97

(参考) 自己資本 2024年12月期 345百万円 2023年12月期 436百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2024年12月期	△186	△16	224	579
2023年12月期	△249	△14	△27	557

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2023年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2024年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2025年12月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—

3. 2025年12月期の連結業績予想（2025年1月1日～2025年12月31日）

(%表示は、通期は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,700	3.0	50	—	60	—	50	—	35.67

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結の範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有

新規 1社（社名）－、除外 1社（社名）アディッシュオーパス株式会社

（注）詳細は、添付資料12ページ「3. 連結財務諸表及び主な注記（5）連結財務諸表に関する注記事項（期中における重要な子会社の異動）」をご参照ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
 ② ①以外の会計方針の変更：無
 ③ 会計上の見積りの変更：無
 ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
 ② 期末自己株式数
 ③ 期中平均株式数

2024年12月期	1,818,360株	2023年12月期	1,802,160株
2024年12月期	67,601株	2023年12月期	83,729株
2024年12月期	1,802,868株	2023年12月期	1,749,489株

（参考）個別業績の概要

1. 2024年12月期の個別業績（2024年1月1日～2024年12月31日）

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年12月期	2,974	2.1	△160	－	△141	－	△146	－
2023年12月期	2,914	△2.1	△187	－	△146	－	△228	－

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2024年12月期	△84.86	－
2023年12月期	△130.56	－

（注）潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの1株当たり当期純損失であるため記載しておりません。

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	百万円	百万円		
2024年12月期	1,125	231	20.0	128.61		
2023年12月期	976	351	35.6	202.45		

（参考）自己資本 2024年12月期 225百万円 2023年12月期 347百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
(5) 継続企業の前提に関する重要事象等	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
連結損益計算書	7
連結包括利益計算書	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(セグメント情報等の注記)	12
(1株当たり情報)	13
(重要な後発事象)	13

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当社グループを取り巻くインターネット業界の動向は、政府のDX推進や働き方改革により、ITインフラの整備、SaaSやAIの活用等、企業のIT投資が堅調に推移しており、インターネット付随サービス業においても様々なニーズが生まれてきております。

当連結会計年度におけるわが国経済は、所得環境等の改善に伴う個人消費の回復が進むなか、海外情勢の影響を受けた原材料・エネルギー価格の高騰や、為替変動等による物価上昇から、個人消費活動の停滞が懸念され、先行き不透明な状況となっております。

このような状況のもと、当社グループでは、「つながりを常によるこびに (Delight in Every Connection)」というミッションを掲げ、インターネット上で生まれるつながりによって生じる課題解決を目指した事業をおこなっており、デジタルエコノミー(注1)に特化したカスタマーサクセス(注2)ソリューション・プロバイダーとして、カスタマーサクセス総合支援やソーシャルアプリサポート及びインターネットモニタリングを提供する「グロース支援サービス」と、デジタルエコノミーに適應するうえでの課題を解決するサービスとして、スクールガーディアンやフロントサポート及びシステムプロダクトを提供する「アダプション(注3)支援サービス」を展開しております。

前連結会計年度においては、人材の積極的な採用等による先行投資や、一部子会社の不採算化、大型案件の一部解約、サービス開始時期の延期等により収益に影響を受けておりましたが、当連結会計年度においては、業績回復に向けて、先行投資の回収、不採算事業の整理等に向けた課題解消を順次推進しております。SaaSを提供する企業が当社のBPOと組み合わせてエンドクライアントを支援する「BPaaS化支援サービス」の提供を2024年6月から開始し、提供拡大の取組を継続いたしております。

一方、新規案件の獲得は堅調に推移し、売上高は3,592,309千円(前年同期比2.0%増)となったものの、人材採用や教育等の人的資本投資の回収の遅れや、ソーシャルゲームの大型案件一部解約等により、営業損失△132,362千円(前年同期は△171,889千円の営業損失)、経常損失△117,884千円(前年同期は△172,276千円の経常損失)、親会社株主に帰属する当期純損失△115,330千円(前年同期は△193,265千円の親会社株主に帰属する当期純損失)となりました。

なお、当社グループはカスタマーリレーション事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載は省略しております。

- (注) 1. 「デジタルエコノミー」とは、デジタルテクノロジーやデータを活用した経済活動のことです。
2. 「カスタマーサクセス」とは、顧客(カスタマー)が成功できるよう顧客に寄り添い、顧客の成功とはなにかを深め続ける取組みのことです。
3. 「アダプション」とは、顧客が製品やサービスを導入したあとに本格的に活用し、定着させていく段階のことです。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当連結会計年度末における流動資産は1,145,470千円となり、前連結会計年度末に比べ126,966千円増加いたしました。これは主に現金及び預金の増加22,108千円、受取手形、売掛金及び契約資産の増加101,153千円によります。固定資産は194,902千円となり、前連結会計年度末に比べ36,457千円増加いたしました。これは主に当社連結子会社であるアディッシュプラス株式会社の鹿島BASE開設に伴う有形固定資産の増加12,114千円、繰延税金資産の増加15,762千円、投資その他の資産に含まれる長期前払費用の増加7,266千円によります。

この結果、総資産は1,340,372千円となり、前連結会計年度末に比べ163,423千円増加いたしました。

(負債)

当連結会計年度末における流動負債は731,642千円となり、前連結会計年度末に比べ176,530千円増加いたしました。これは主に新規借入に伴う短期借入金の増加137,500千円、当社連結子会社であるアディッシュプラス株式会社の鹿島BASE開設に伴う未払金の増加30,270千円によります。固定負債は256,671千円となり、前連結会計年度末に比べ74,550千円増加いたしました。これは主に転換社債型新株予約権付社債の増加100,000千円、長期借入金の減少24,696千円によります。

この結果、負債合計は988,313千円となり、前連結会計年度末に比べ251,080千円増加いたしました。

(純資産)

当連結会計年度末における純資産合計は352,058千円となり、前連結会計年度末に比べ87,656千円減少いたしました。これは主に新株発行による資本金の増加5,013千円及び資本剰余金の増加5,013千円、株式報酬による自己株式の処分13,999千円、親会社株主に帰属する当期純損失の計上115,330千円によります。

この結果、自己資本比率は25.8%(前連結会計年度末は37.1%)となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ22,207千円増加し、当連結会計年度末には579,323千円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果使用した資金は186,147千円（前年同期は249,565千円の使用）となりました。これは主に税金等調整前当期純損失の計上117,884千円、売上債権及び契約資産の増加100,793千円によります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は16,499千円（前年同期は14,572千円の使用）となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出10,441千円、無形固定資産の取得による支出3,996千円によります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果獲得した資金は224,739千円（前年同期は27,990千円の使用）となりました。これは主に短期借入金の純増額137,500千円、長期借入れによる収入80,000千円、長期借入金の返済による支出103,272千円、転換社債型新株予約権付社債の発行による収入100,000千円によります。

(4) 今後の見通し

当社グループは、創業以来ソーシャルメディア領域やゲーム・アプリ領域でサービスを展開する様々な企業に対してカスタマーリレーションサービスを提供することで堅調な成長を遂げてまいりました。最近では、シェアリングエコノミー領域、Fintech領域、MaaS領域といった成長性の高い市場で活躍する企業や、スタートアップ等へのサービス提供が増加しております。

日本国内におけるスタートアップの資金調達額は増加傾向にあり、急拡大・急成長を遂げるスタートアップがサービス拡大を実現するためのカスタマーサクセスへのニーズが増加しております。これに伴い、スタートアップ向けカスタマーサクセス支援サービスを提供する当社グループの新規需要が増加しております。

また、ビジネスプロセスアウトソーシング（BPO）市場におきましては、従来から存在するカスタマーサポートのアウトソーシングニーズに加え、市場の変化として顧客を成功体験へ導くカスタマーサクセスの支援ニーズが増加しております。このような市場の動向を受け、当社グループでは、これまで蓄積してきたノウハウを活かし、「スタートアップにおけるカスタマーサクセス支援のトップパートナー」を目指してまいります。

これらにより、2025年12月期の当社グループ業績につきましては、売上高3,700百万円（前年同期比3.0%増）、営業利益50百万円（前年同期は132百万円の営業損失）、経常利益60百万円（前年同期は117百万円の経常損失）、親会社株主に帰属する当期純利益50百万円（前年同期は115百万円の親会社株主に帰属する当期純損失）となる見込みであります。

なお、上記の業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

(5) 継続企業の前提に関する重要事象等

当社グループは、当連結会計年度（2024年12月期）におきましても営業損失及びマイナスの営業キャッシュ・フローを計上いたしました。売上高の増加や営業利益の黒字化を目指しておりましたが、人材の採用や教育等の人的資本に対する先行投資の回収の遅れや、市場が低迷しているソーシャルゲーム業界の大型案件の解約等により想定以上に業績の回復が遅れたことが主な要因であります。

これにより「継続的な営業損失又は営業キャッシュ・フローのマイナス」となり、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況が存在していると認識しております。

当社グループは、このような状況を解消するため、事業環境の変化により将来の成長を見込むことが難しいと判断した案件を徐々に縮小し、高い成長率が期待できるカスタマーサクセスや、大規模カスタマーサポート案件に経営資源を集中させ業績回復を図っております。合わせて、効率的かつ効果的なコストの配分により、無駄のない事業運営を図り、翌連結会計年度以降の伸長を見据えた事業計画を策定しております。

また、当面の十分な自己資金も確保しており、翌連結会計年度の事業計画に基づく資金計画による評価を実施した結果、継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないものと判断しております。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、国内の同業他社との比較可能性を確保するため、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当連結会計年度 (2024年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	557,215	579,323
受取手形、売掛金及び契約資産	398,517	499,670
貯蔵品	240	462
前払費用	37,381	46,546
その他	25,148	19,537
貸倒引当金	—	△70
流動資産合計	1,018,504	1,145,470
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	93,496	115,564
減価償却累計額	△43,668	△50,055
建物及び構築物(純額)	49,828	65,508
工具、器具及び備品	69,768	76,786
減価償却累計額	△49,341	△59,925
工具、器具及び備品(純額)	20,426	16,860
有形固定資産合計	70,255	82,369
無形固定資産		
その他	0	3,396
無形固定資産合計	0	3,396
投資その他の資産		
差入保証金	73,748	71,665
繰延税金資産	14,440	30,203
その他	—	7,266
投資その他の資産合計	88,189	109,136
固定資産合計	158,444	194,902
資産合計	1,176,948	1,340,372

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当連結会計年度 (2024年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	50,376	49,495
短期借入金	—	137,500
1年内返済予定の長期借入金	92,608	94,032
未払金	50,392	80,630
未払費用	241,083	241,074
未払法人税等	10,802	5,384
未払消費税等	42,764	58,071
契約負債	37,693	35,151
預り金	29,287	30,181
その他	104	121
流動負債合計	555,111	731,642
固定負債		
転換社債型新株予約権付社債	—	100,000
長期借入金	179,004	154,308
退職給付に係る負債	3,117	2,363
固定負債合計	182,121	256,671
負債合計	737,233	988,313
純資産の部		
株主資本		
資本金	54,227	59,240
資本剰余金	449,962	454,976
利益剰余金	28,262	△87,136
自己株式	△100,261	△86,262
株主資本合計	432,190	340,817
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	4,232	4,902
その他の包括利益累計額合計	4,232	4,902
新株予約権	3,293	6,338
純資産合計	439,715	352,058
負債純資産合計	1,176,948	1,340,372

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)	当連結会計年度 (自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)
売上高	3,520,743	3,592,309
売上原価	2,521,572	2,630,001
売上総利益	999,171	962,307
販売費及び一般管理費	1,171,060	1,094,670
営業損失(△)	△171,889	△132,362
営業外収益		
受取利息	33	64
助成金収入	2,056	16,200
雇用調整助成金	—	301
協賛金収入	—	486
受取ロイヤリティー	500	—
雑収入	896	1,649
営業外収益合計	3,486	18,700
営業外費用		
支払利息	1,905	3,877
為替差損	1,261	227
その他	705	117
営業外費用合計	3,873	4,222
経常損失(△)	△172,276	△117,884
特別損失		
固定資産除却損	—	0
減損損失	3,643	—
特別損失合計	3,643	0
税金等調整前当期純損失(△)	△175,919	△117,884
法人税、住民税及び事業税	21,964	13,179
法人税等調整額	△3,527	△15,734
法人税等合計	18,437	△2,554
当期純損失(△)	△194,356	△115,330
非支配株主に帰属する当期純損失(△)	△1,091	—
親会社株主に帰属する当期純損失(△)	△193,265	△115,330

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)	当連結会計年度 (自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)
当期純損失(△)	△194,356	△115,330
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	3,286	670
その他の包括利益合計	3,286	670
包括利益	△191,070	△114,659
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	△189,979	△114,659
非支配株主に係る包括利益	△1,091	—

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)

(単位:千円)

	株主資本			
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式
当期首残高	54,047	449,782	221,528	△359
当期変動額				
親会社株主に帰属する当期純損失(△)			△193,265	
新株の発行(新株予約権の行使)	180	180		
自己株式の取得				△99,902
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)				
当期変動額合計	180	180	△193,265	△99,902
当期末残高	54,227	449,962	28,262	△100,261

	株主資本	その他の包括利益累計額		新株予約権
	株主資本合計	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	724,997	945	945	427
当期変動額				
親会社株主に帰属する当期純損失(△)	△193,265		—	
新株の発行(新株予約権の行使)	360		—	
自己株式の取得	△99,902		—	
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	—	3,286	3,286	2,865
当期変動額合計	△292,807	3,286	3,286	2,865
当期末残高	432,190	4,232	4,232	3,293

	非支配株主持分	純資産合計
当期首残高	1,091	727,462
当期変動額		
親会社株主に帰属する当期純損失(△)		△193,265
新株の発行(新株予約権の行使)		360
自己株式の取得		△99,902
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△1,091	5,061
当期変動額合計	△1,091	△287,746
当期末残高	—	439,715

当連結会計年度(自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)

(単位:千円)

	株主資本			
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式
当期首残高	54,227	449,962	28,262	△100,261
当期変動額				
親会社株主に帰属する当期純損失(△)			△115,330	
新株の発行	5,013	5,013		
自己株式の処分				13,999
連結範囲の変動			△69	
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)				
当期変動額合計	5,013	5,013	△115,399	13,999
当期末残高	59,240	454,976	△87,136	△86,262

	株主資本	その他の包括利益累計額		新株予約権
	株主資本合計	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	432,190	4,232	4,232	3,293
当期変動額				
親会社株主に帰属する当期純損失(△)	△115,330		—	
新株の発行	10,027		—	
自己株式の処分	13,999		—	
連結範囲の変動	△69		—	
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	—	670	670	3,045
当期変動額合計	△91,372	670	670	3,045
当期末残高	340,817	4,902	4,902	6,338

	純資産合計
当期首残高	439,715
当期変動額	
親会社株主に帰属する当期純損失(△)	△115,330
新株の発行	10,027
自己株式の処分	13,999
連結範囲の変動	△69
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	3,715
当期変動額合計	△87,656
当期末残高	352,058

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)	当連結会計年度 (自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純損失 (△)	△175,919	△117,884
減価償却費	19,955	17,473
差入保証金償却額	3,290	3,290
株式報酬費用	2,865	13,060
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△275	70
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	539	△939
受取利息	△33	△64
支払利息	1,905	3,877
為替差損益 (△は益)	1,888	621
固定資産除却損	—	0
減損損失	3,643	—
貸倒損失	—	103
売上債権及び契約資産の増減額 (△は増加)	△10,375	△100,793
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△240	18
仕入債務の増減額 (△は減少)	8,599	△880
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△23,726	15,306
未払金の増減額 (△は減少)	△21,008	11,061
未払費用の増減額 (△は減少)	△11,626	△76
契約負債の増減額 (△は減少)	△3,827	△2,532
その他	△3,633	△16,931
小計	△207,978	△175,219
利息の受取額	32	56
利息の支払額	△2,018	△3,981
法人税等の支払額	△39,601	△18,601
法人税等の還付額	—	11,598
営業活動によるキャッシュ・フロー	△249,565	△186,147
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△20,970	△10,441
無形固定資産の取得による支出	—	△3,996
差入保証金の差入による支出	△2,193	△2,061
差入保証金の回収による収入	8,591	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△14,572	△16,499
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	—	137,500
長期借入れによる収入	150,000	80,000
長期借入金の返済による支出	△78,448	△103,272
転換社債型新株予約権付社債の発行による収入	—	100,000
株式の発行による収入	360	10,027
自己株式の取得による支出	△99,902	—
新株予約権の発行による収入	—	483
財務活動によるキャッシュ・フロー	△27,990	224,739
現金及び現金同等物に係る換算差額	325	113
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△291,802	22,207
現金及び現金同等物の期首残高	849,018	557,215
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	—	△99
現金及び現金同等物の期末残高	557,215	579,323

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(期中における重要な子会社の異動)

当連結会計年度において、アディッシュオーパス株式会社は清算終了により連結の範囲から除外しております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

当社グループは、カスタマーリレーション事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)	当連結会計年度 (自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)
1株当たり純資産額	253.97円	197.47円
1株当たり当期純損失(△)	△110.47円	△66.69円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	－円	－円

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり当期純損失であるため記載しておりません。

2. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、次のとおりであります。

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当連結会計年度 (2024年12月31日)
純資産の部の合計額(千円)	439,715	352,058
純資産の部の合計額から控除する金額	3,293	6,338
(うち、新株予約権(千円))	(3,293)	(6,338)
(うち、非支配株主持分(千円))	(－)	(－)
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	436,422	345,720
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数(株)	1,718,431	1,750,759

3. 1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、次のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)	当連結会計年度 (自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)
1株当たり当期純損失(△)		
親会社株主に帰属する当期純損失(△) (千円)	△193,265	△115,330
普通株主に帰属しない金額(千円)	－	－
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純損失(△)(千円)	△193,265	△115,330
普通株式の期中平均株式数(株)	1,749,489	1,729,362
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額 (千円)	－	－
普通株式増加数(株)	－	－
(うち新株予約権(株))	(－)	(－)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	新株予約権3種類(新株予約権の数9,362個)	新株予約権3種類(新株予約権の数5,402個)

(重要な後発事象)

該当事項はありません。